



平成 26 年 11 月 5 日

各 位

上場会社名 株式会社 サンユウ
代表者 代表取締役社長 西野 淳二
(コード番号 5697)
問合せ先責任者 取締役財務部長 西村 圭二
(TEL 072-858-1251)

平成 27 年 3 月期第 2 四半期の業績予想と実績値との差異
並びに通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 8 月 4 日に公表しました平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と、本日公表の平成 27 年 3 月期第 2 四半期決算短信[日本基準](連結)において差異が生じたのでお知らせいたします。

また、未定としておりました平成 27 年 3 月期の通期業績予想を下記のとおり修正することとし、これを踏まえ、未定としておりました平成 27 年 3 月期期末配当予想について、下記のとおり修正することといたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 業績予想と実績値との差異

連結業績予想と実績値との差異 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,000	120	130	80	13.37
実績値 (B)	8,050	146	159	106	17.73
増減額 (B - A)	50	26	29	26	—
増減率 (%)	0.6	21.7	22.8	32.6	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	7,397	△6	△7	△33	△5.54

<修正の理由>

当連結会計年度上期におきましては、当社グループの主要な対面業界である自動車業界の生産活動は、消費税増税後の反動減が比較的軽微に止まり、堅調に推移しました。

こうした事業環境下、連結の売上高は予想とほぼ同水準となりました。

利益指標につきましては、生産性の向上及びコスト削減に取り組んだこと等により、売上総利益率が改善し予想を上回りました。

2. 通期業績予想の修正

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	—	—	—	—	—
今回修正予想（B）	15,600	270	280	175	29.25
増減額（B－A）	—	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 26 年 3 月期）	15,693	162	168	99	16.60

<修正の理由>

通期連結業績予想につきましては、対面業界の活動水準が不透明なこと並びに材料価格及び当社の販売価格水準を予測することが困難なことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基いて公表いたします。

当連結会計年度下期における当社グループの主要な対面業界である自動車業界の生産活動は、国内景気のゆるやかな回復等を背景に一定規模で推移するものと想定されますが、一方、消費税増税の駆け込み需要の反動減の長期化及び海外景気の下振れリスクもあり、楽観視できない状況にあります。

材料価格につきましては、自動車メーカーの集購支給材の単価改定発表がありました。現段階では、価格動向は流動的であります。

この経営環境下、当社グループは引き続き全社を挙げて収益の確保、生産性の向上及びコスト削減に取り組んでまいります。

通期連結業績予想につきましては、まず、売上高は、前連結会計年度とほぼ同じ規模になる見込みであります。

次に利益指標につきましては、当社単体の増益に加え子会社の(株)サンユウ九州において、販売数量及び生産数量の拡大並びに減価償却費の減少などにより収益改善することから、いずれの利益指標も前連結会計年度比増益となる見込みであります。

（注）本資料に掲載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

3. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 （平成 26 年 5 月 9 日発表）	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	—	—	5.00	5.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 （平成 26 年 3 月期）	—	0.00	—	5.00	5.00

<修正の理由>

当社は、株主に対しては安定配当を維持しつつ、利益水準や財務内容を総合的に勘案し、適切な利益配当を行うことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、市況環境等先行きが不透明な状況にあったことから未定としておりましたが、通期業績予想の修正を踏まえ、期末配当を前期と同じ1株当たり5円とさせていただく予定であります。

今期の当期純利益の予想値は前期に対し増益となりますが、今後も安定配当方針を堅持し長期的に安定的な配当を実施していくためにも、当期は財務体質の強化に努めたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、何卒、当社の配当に対する考え方にご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上